

使用済燃料再処理機構 平成28年度 第3回運営委員会 議事概要

1 開催日時 平成28年11月25日（金）13時30分～15時30分

2 開催場所 使用済燃料再処理機構 会議室

3 出席委員 近藤駿介（委員長）、中根猛（委員長代理）

秋池玲子、塩越隆雄、徳植桂治、四元弘子（五十音順）

出席理事 井上茂（理事長）、村永慶司、関口恭三、出光一哉

同席者 山上圭子（監事）

4 議事の経過および結果

（1）委員会の成立状況報告

委員長が、定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数の出席が認められ、本委員会が有効に成立している旨を報告した。

（2）議案審議および自由討議

【決議事項】

第1号議案 平成28年度余裕金運用計画決定の件

○事務局から、平成28年度余裕金運用計画案について説明。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり決定された。

<添付資料>

[資料1 「平成28年度余裕金運用計画」](#)

【その他事項】

a. 主な業務の執行状況【報告】

○理事長から、平成28年10月度の運営委員会以降の主な業務の執行状況について説明を行った。

<添付資料>

[資料2 「主な業務の執行状況」](#)

b. 再処理事業等の概要説明（日本原燃株式会社）

○日本原燃株式会社工藤社長から、再処理事業等の概要について説明を受け、自由討議を行った。

<添付資料>

[資料3 「再処理事業等の概要」](#)

○主な質疑・意見

・再処理工場等の操業が軌道に乗った段階では、現場の技能レベルの確保が大事

になる。また、従業員の士気・モラルを維持するのも大変だと懸念するが、どのような取り組みを行っているのか。

⇒（日本原燃）士気・モラルは、経営として最重要課題だと認識している。現場に赴いての対話活動・声かけなど、こまめに対応しているが、新規制基準という高いハードルを乗り越えるという当面の目標があり、士気・モラルは十分保てていると認識している。技術的な能力の確保については、シミュレーターを使った研修や事故を模擬した訓練などを行っている。今後、一人一人の技術的な能力の点検をやっていく。

- ・外国からの技術導入は、現場感覚がないと体に染みつかないということもあると思う。例えばアレバ社の稼働している施設で経験をさせるなど、シビアな環境の中で学ぶチャンスも与え、育成していかなければならない。

⇒（日本原燃）再処理工場のアクティブ試験に入るときに、社員の相当数をアレバ社に行かせて研修させた。当時の経験者も残っているので、技術継承を着実に進めていき、現場で活躍できるようなキーマンを育てていく。

- ・新規制基準対応の状況を説明されたい。

⇒（日本原燃）安全審査に関しては、先般、原子力規制委員会に、現地で重大事故の時の対応等をご確認いただいた。工事に関しては、どのような工事をやればよいかはほぼ見えており、一部は先行して開始しているが、これから本格化する。規模の大きい工事となり、安全確保に気を付けながら、様々な工夫をして迅速にやれるよう最大限努力し、2018 年度上期のしゅん工を目指す。

- ・規模の大きさも原子力発電所数基分と非常に巨大で、多数のプレーヤーが関わっているということであるが、プロジェクトマネジメントが複雑度を増す、コミュニケーションの面で手間暇がかかるといったことにより、脆弱性が生まれるなどの問題はないのか。

⇒（日本原燃）プロジェクトマネジメントやコミュニケーションをしっかりとすることは、安全確保の面で重要な点であり、ご指摘の点は大きな課題。例えば、建屋単位で特定の会社に建屋全体の調整の役割をお願いする、原子力関係のメーカーのトップ同士でコミュニケーションを図るトップ会議や実務的なレベルの会合を相当数重ねる、などしてお互いの悩みや問題点を共有している。

- ・コストの最適化は重要だが、必要なところまで削減するのは問題。削ってはいけないところまで削るとトラブルが起きかねない。技術を身に付け、トラブル

を起こさずに安定して運転するというのが一番のコストダウンだと思う。そのためには、現場力が重要。

⇒（日本原燃）安全かつ安定的に運転するために必要なものは削ってはいけないというのは大前提。ただし、それを前提にした上で、いかにコストダウンをするかということも大事な点であり、その両立を目指すことが重要。どちらかに偏ることのないよう、心して対応していく。

（３）その他

○委員長より、議事概要に記名する者として、委員長の他、中根委員長代理及び井上理事長の3名を指名したい旨提案があり、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、上記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理機構
運営委員会

委員長	近藤 駿介	印
-----	-------	---

委員長代理	中根 猛	印
-------	------	---

理事長	井上 茂	印
-----	------	---

以 上